

令和6年度学校保健統計調査結果（確報値）

和歌山県の概要

1. 学校保健統計調査について

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく基幹統計調査として文部科学省が毎年実施しています。

調査の範囲は、国立、公立、私立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）、小学校（義務教育学校の第1学年～6学年を含む）、中学校（義務教育学校の第7学年～9学年を含む）、高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）としており、調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和6年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部としています。調査事項は発育状態（身長、体重）と健康状態（疾病・異常の有無）であり、発育状態調査については、年齢別、男女別に系統抽出法により対象児童等を抽出し、健康状態調査については、調査実施校の在学者全員を対象としています。

2. 和歌山県の調査対象数

学校種別	学 年	年 齢	幼児、児童、 生徒総数(人)	調査実施校 (園)数	調査対象者数(人)	
					発育状態	健康状態
合 計			89,641	149校(園)	12,503	49,876
幼 稚 園		5歳	3,062	28園	938	1,303
小 学 校	1年生	6歳	6,514	58校	875	3,032
	2年生	7歳	6,598		880	3,103
	3年生	8歳	6,954		885	3,224
	4年生	9歳	7,138		894	3,328
	5年生	10歳	7,069		881	3,219
	6年生	11歳	7,400		884	3,427
	計		41,673		5,299	19,333
中 学 校	1年生	12歳	7,591	38校	1,393	4,439
	2年生	13歳	7,565		1,384	4,388
	3年生	14歳	7,672		1,371	4,343
	計		22,828		4,148	13,170
高 等 学 校	1年生	15歳	7,717	25校	715	5,595
	2年生	16歳	7,270		708	5,325
	3年生	17歳	7,091		695	5,150
	計		22,078		2,118	16,070

※年齢は、令和6年4月1日現在の満年齢です。

※幼児、児童、生徒総数は令和6年度学校基本調査結果によります。

※調査対象者は、幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）については5歳児のみで、高等学校については満18歳以上の生徒及び通信制課程の生徒は除きます。

3. 利用上の注意

(1) 調査結果の公表

本集計結果は、文部科学省から公表された「令和6年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）」のうち、和歌山県分について取りまとめたものです。

(2) 表中の符号について

「-」…計数がない場合

「△」…数値が減少、又は負の数の場合

「0.0」…計数が単位未満の場合

「…」…調査対象とならなかった場合

「X」…標本サイズが小さい、又は標準誤差が大きいため統計数値を公表しない場合

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和2年度～令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長しました。

このため、この期間の集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、他の年度の数値と単純比較することはできません。

【 発 育 状 態 】

1 和歌山県の児童・生徒の体格（平均値）

(1) 身長（表1、図1-1～2）

男子の身長は、9歳、13歳及び16歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

女子の身長は、11歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

(2) 体重（表1、図1-3～4）

男子の体重は、9歳、12歳から14歳及び16歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

女子の体重は、6歳、8歳及び9歳を除く各年齢で全国平均を上回るか同等の数値となっています。

表1 発育状態調査結果

身長 (単位: cm)

区分		男子			女子		
		和歌山県	全国	差	和歌山県	全国	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	110.2	110.6	△ 0.4	109.4	109.6	△ 0.2
	6歳	116.7	116.7	0.0	115.0	115.8	△ 0.8
小学校	7歳	122.2	122.6	△ 0.4	121.6	121.8	△ 0.2
	8歳	128.1	128.5	△ 0.4	127.5	127.7	△ 0.2
	9歳	134.1	134.0	0.1	133.7	134.1	△ 0.4
	10歳	138.9	139.7	△ 0.8	140.7	141.1	△ 0.4
	11歳	146.0	146.0	0.0	148.1	147.8	0.3
中学校	12歳	153.9	154.0	△ 0.1	152.0	152.3	△ 0.3
	13歳	161.4	161.1	0.3	155.0	155.0	0.0
	14歳	166.0	166.1	△ 0.1	156.2	156.4	△ 0.2
高等学校	15歳	168.0	168.6	△ 0.6	157.1	157.1	0.0
	16歳	170.0	169.9	0.1	157.3	157.7	△ 0.4
	17歳	170.4	170.8	△ 0.4	157.8	158.0	△ 0.2

体重 (単位: kg)

区分		男子			女子		
		和歌山県	全国	差	和歌山県	全国	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	18.9	19.0	△ 0.1	18.7	18.7	0.0
	6歳	21.3	21.4	△ 0.1	20.9	21.0	△ 0.1
小学校	7歳	24.2	24.2	0.0	23.7	23.7	0.0
	8歳	27.4	27.6	△ 0.2	26.8	26.9	△ 0.1
	9歳	31.3	31.2	0.1	30.1	30.5	△ 0.4
	10歳	34.4	35.2	△ 0.8	35.4	35.0	0.4
	11歳	39.4	39.6	△ 0.2	40.7	40.1	0.6
中学校	12歳	45.6	45.3	0.3	44.5	44.4	0.1
	13歳	50.6	50.5	0.1	47.8	47.5	0.3
	14歳	55.2	55.0	0.2	50.0	49.6	0.4
高等学校	15歳	58.8	59.0	△ 0.2	51.4	51.1	0.3
	16歳	62.5	60.5	2.0	52.6	52.0	0.6
	17歳	62.0	62.2	△ 0.2	52.6	52.5	0.1

図1-1 年齢別身長の全国との比較（男子）

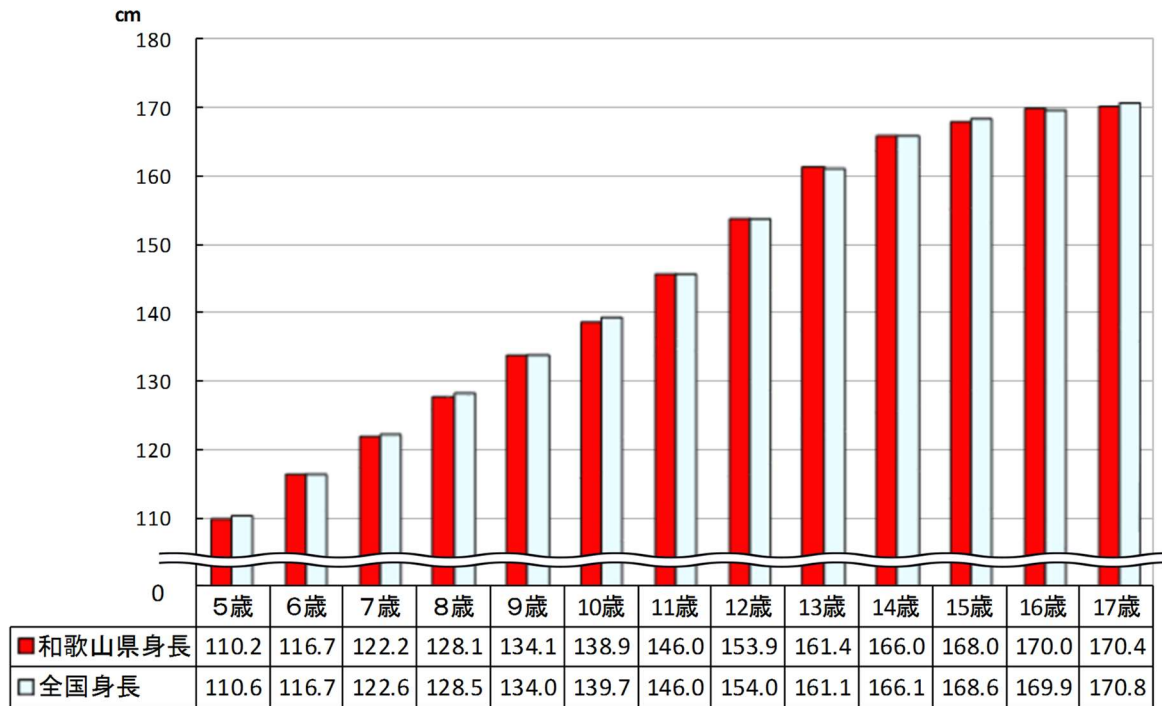


図1-2 年齢別身長の全国との比較（女子）

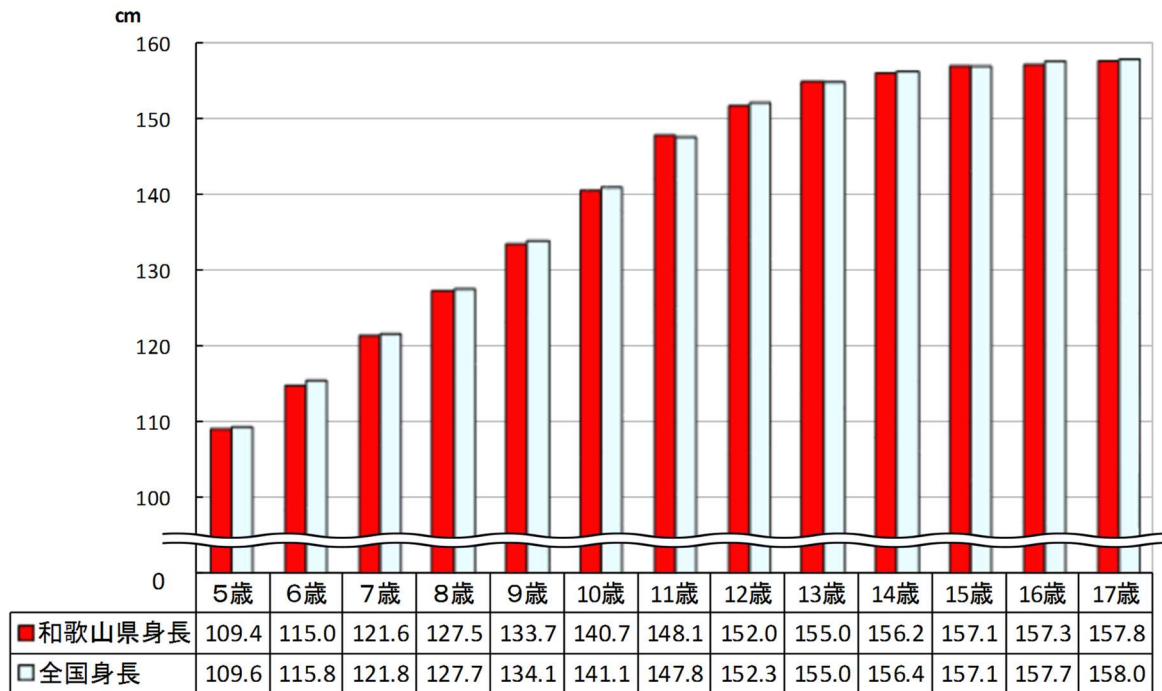


図1-3 年齢別体重の全国との比較（男子）

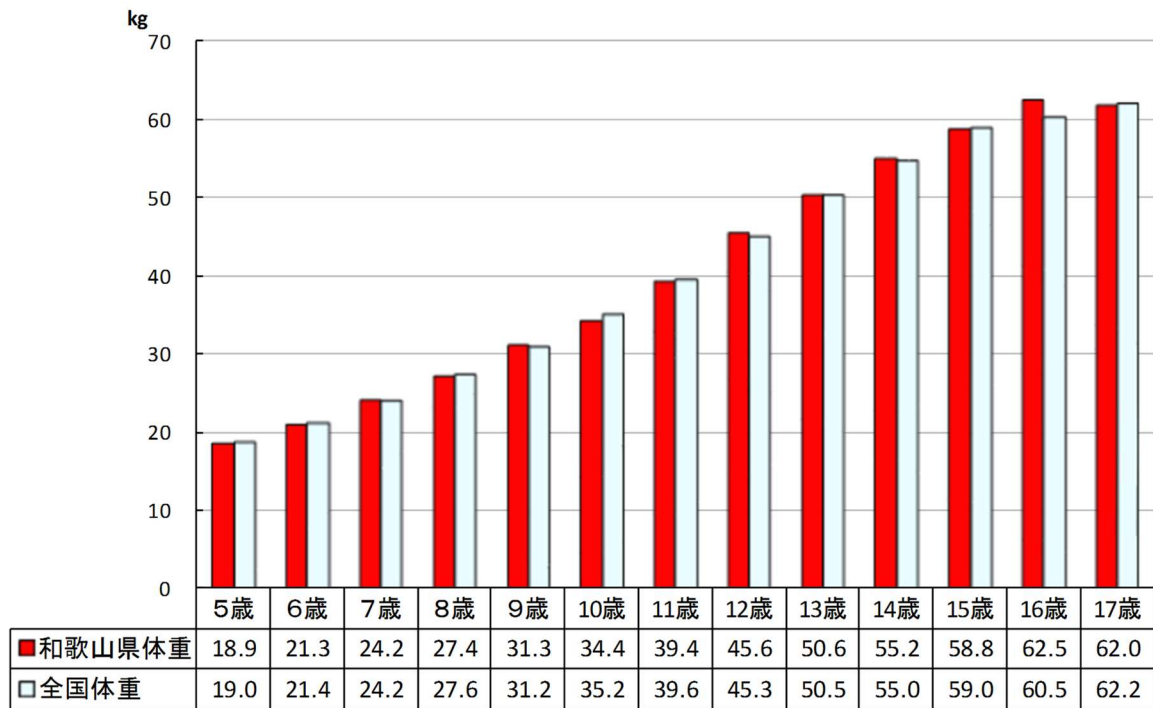
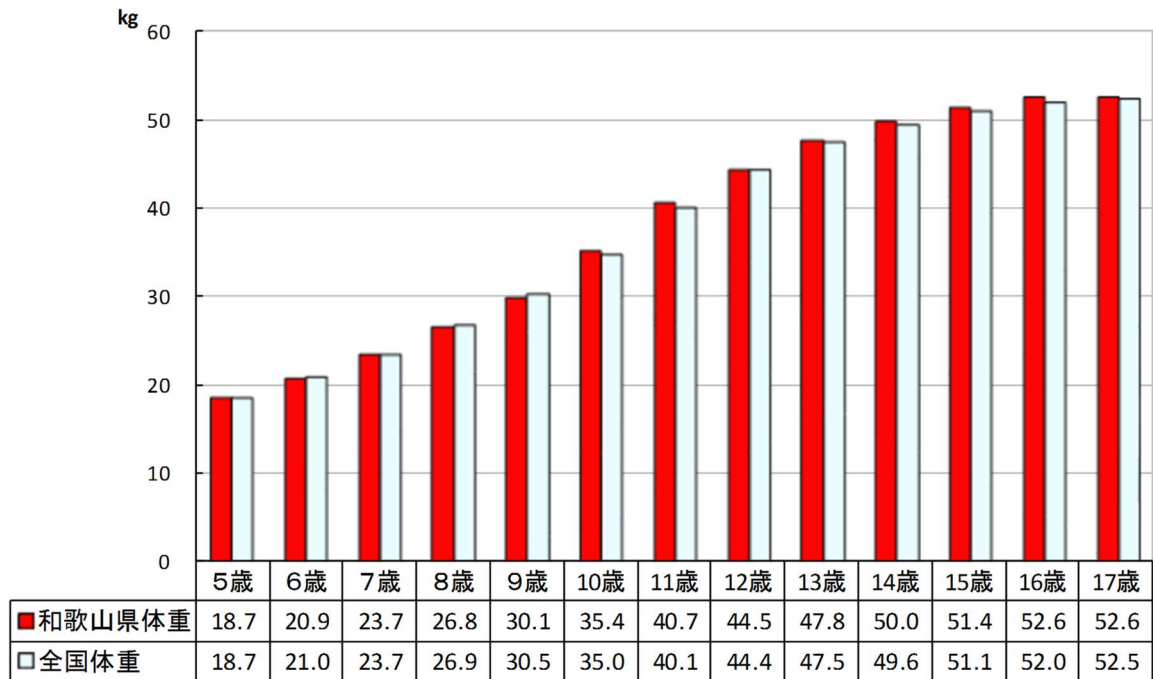


図1-4 年齢別体重の全国との比較（女子）



参考1 平成18年度生まれ（令和6年度17歳）の者の年間発育量

(1) 身長（参考表1、参考図1-1）

平成18年度生まれ（令和6年度17歳）の年間発育量を見ると、男子は12歳時に最大の発育量を示しています。女子は10歳時に最大の発育量を示しています。

(2) 体重（参考表1、参考図1-2）

平成18年度生まれ（令和6年度17歳）の年間発育量を見ると、男子は12歳時に最大の発育量を示しています。女子は10歳時に最大の発育量を示しています。

参考表1 平成18年度生まれ（令和6年度17歳）の者の年間発育量

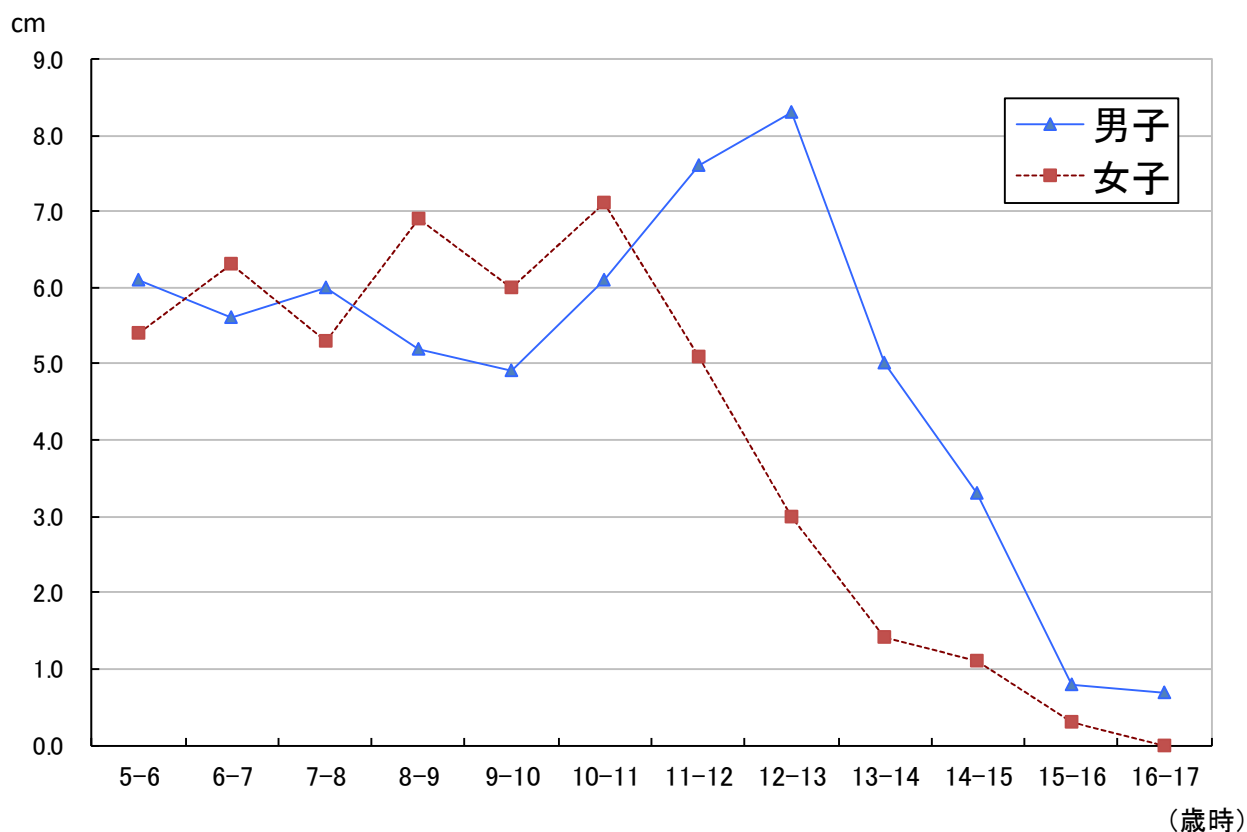
区分		身長(cm)				体重(kg)			
		男子		女子		男子		女子	
		和歌山県	全国	和歌山県	全国	和歌山県	全国	和歌山県	全国
総発育量		59.6	60.3	47.9	48.5	43.1	43.3	34.0	34.0
幼稚園	5歳時	6.1	6.1	5.4	6.1	2.7	2.4	2.3	2.4
小学校	6歳時	5.6	5.8	6.3	5.9	2.3	2.7	2.7	2.5
	7歳時	6.0	5.7	5.3	5.8	3.1	2.9	2.8	3.0
	8歳時	5.2	5.5	6.9	6.1	3.8	3.7	4.1	3.4
	9歳時	4.9	5.4	6.0	6.7	3.2	3.6	3.3	4.2
	10歳時	6.1	6.2	7.1	6.7	4.3	4.2	5.5	5.1
中学校	11歳時	7.6	7.6	5.1	5.1	5.4	5.8	4.9	4.7
	12歳時	8.3	8.6	3.0	3.3	7.4	6.7	3.4	4.1
	13歳時	5.0	4.3	1.4	1.3	3.6	3.8	2.7	2.1
高等学校	14歳時	3.3	2.9	1.1	0.7	5.1	4.4	1.3	1.2
	15歳時	0.8	1.3	0.3	0.6	1.0	1.3	0.9	1.0
	16歳時	0.7	0.9	0.0	0.2	1.2	1.8	0.1	0.3

※年間発育量とは、例えば、平成18年度生まれ（令和6年度17歳）の「5歳時」の年間発育量は、平成25年度調査6歳の者の身長・体重から平成24年度調査5歳の者の身長・体重を引いた数値です。

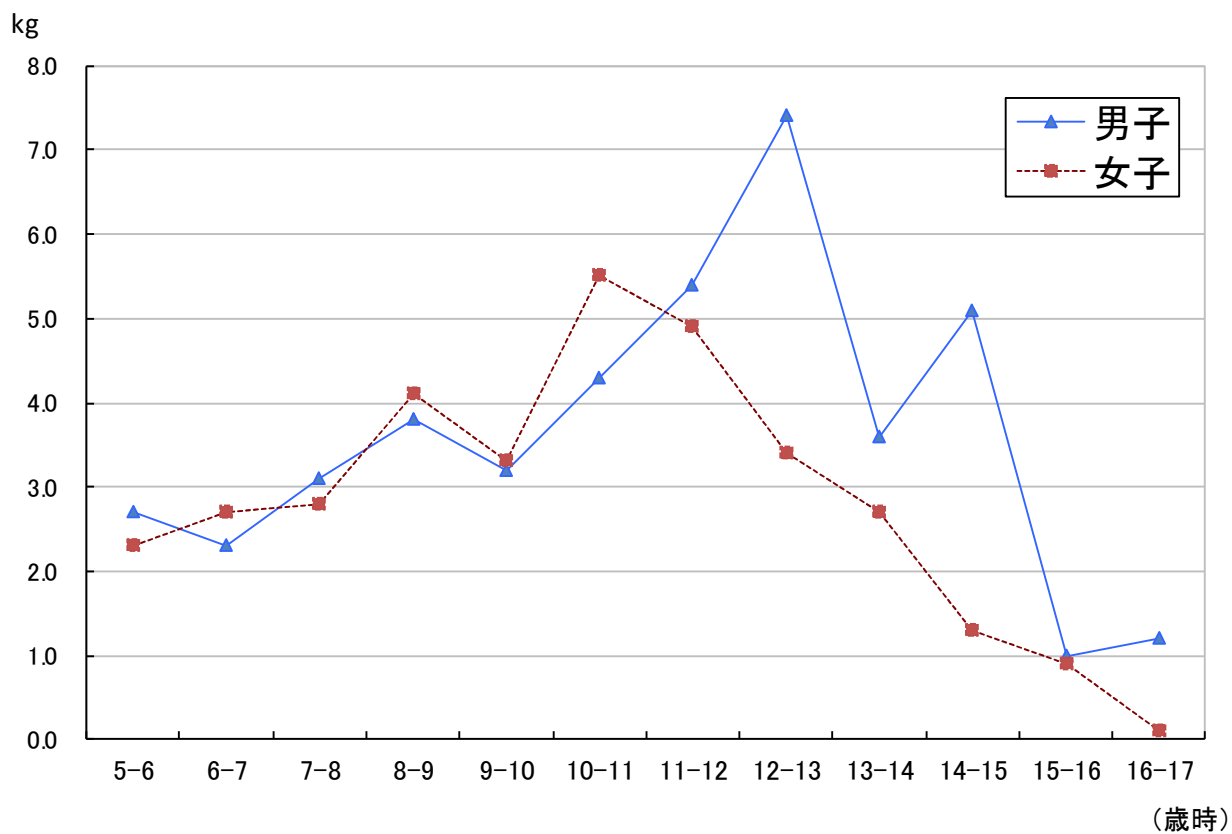
※表の網掛け部分は、5歳時から16歳時のうち最大の年間発育量を示しています。

※令和2年度～令和5年度の集計結果については、調査時期の影響が含まれるため、12歳時から16歳時の年間発育量は参考値となりますので、御注意ください（P.2「3.利用上の注意(3)」参照）。

参考図 1-1 平成 18 年度生まれ（令和 6 年度 17 歳）の者の年間発育量（身長）



参考図 1-2 平成 18 年度生まれ（令和 6 年度 17 歳）の者の年間発育量（体重）



参考2 親の世代（30年前の平成6年度の数値）との比較

(1) 身長（参考表2、参考図2-1～2）

和歌山県の令和6年度の身長を親の世代（30年前の平成6年度の数値）と比較すると、男子では、5歳から7歳及び15歳から17歳を除く各年齢で30年前の平均身長を上回る数値となっており、最も差が大きいのは12歳及び13歳で2.1cm高くなっています。

女子では、8歳から11歳の各年齢で30年前の平均身長を上回る数値となっており、最も差が大きいのは11歳で1.9cm高くなっています。

(2) 体重（参考表2、参考図2-1～2）

和歌山県の令和6年度の体重を親の世代と比較すると、男子では、5歳、6歳、15歳及び17歳を除く各年齢で30年前の平均体重を上回る数値となっており、最も差が大きいのは11歳、12歳、13歳で1.5kg重くなっています。

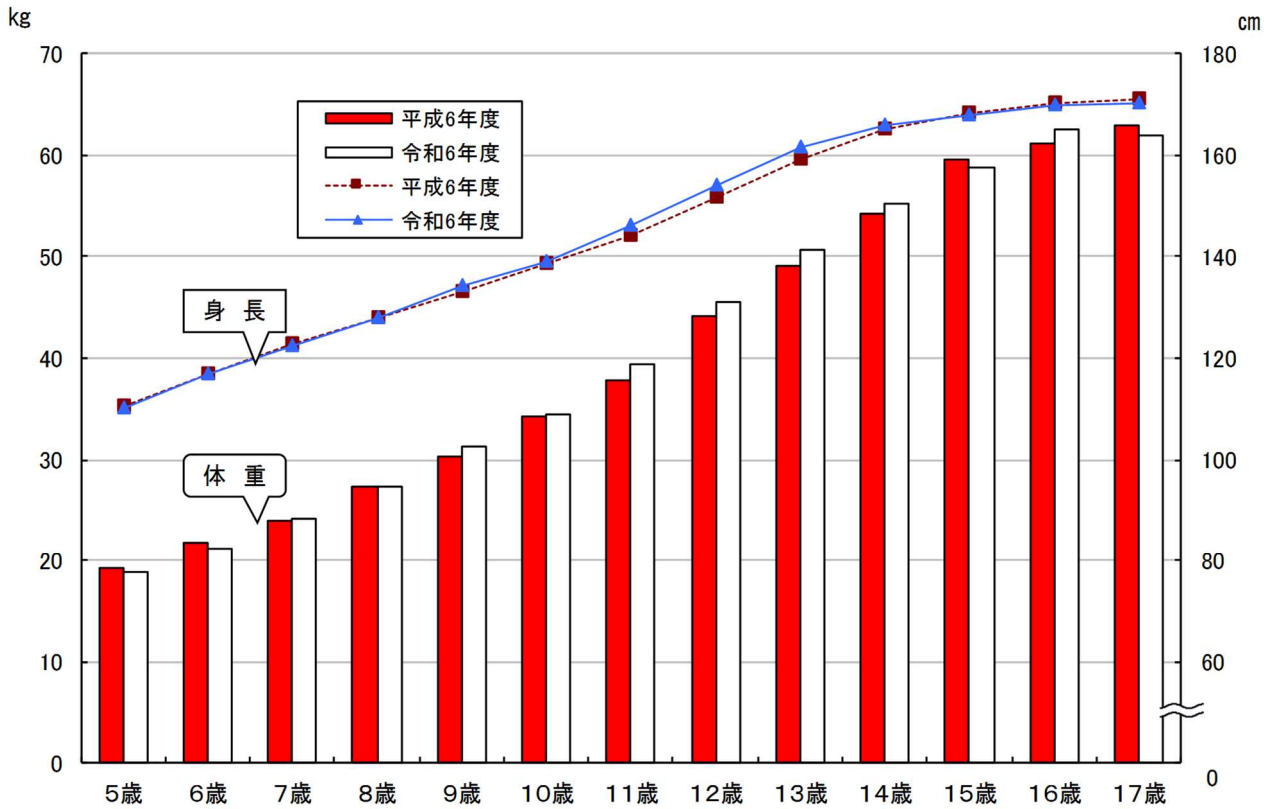
女子では、7歳から11歳の各年齢で30年前の平均体重を上回る数値となっており、最も差が大きいのは11歳で1.4kg重くなっています。

参考表2 親の世代である30年前（平成6年度調査）との比較

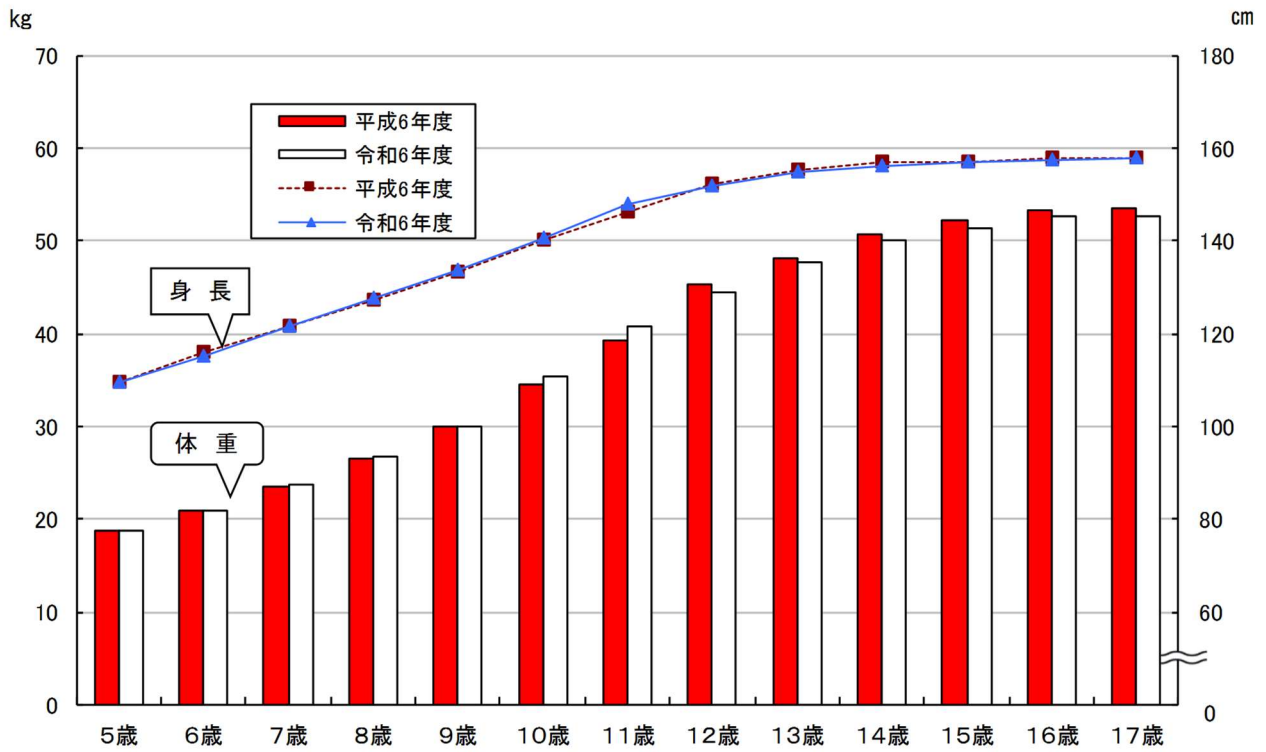
区分		身長 (単位: cm)					
		男子			女子		
		令和6年度 A	平成6年度 B	差 A-B	令和6年度 A	平成6年度 B	差 A-B
幼稚園	5歳	110.2	110.6	△ 0.4	109.4	109.5	△ 0.1
	6歳	116.7	117.0	△ 0.3	115.0	115.9	△ 0.9
小学校	7歳	122.2	122.6	△ 0.4	121.6	121.6	0.0
	8歳	128.1	127.9	0.2	127.5	127.2	0.3
	9歳	134.1	133.2	0.9	133.7	133.1	0.6
	10歳	138.9	138.7	0.2	140.7	140.1	0.6
	11歳	146.0	144.1	1.9	148.1	146.2	1.9
中学校	12歳	153.9	151.8	2.1	152.0	152.3	△ 0.3
	13歳	161.4	159.3	2.1	155.0	155.1	△ 0.1
	14歳	166.0	165.3	0.7	156.2	156.9	△ 0.7
高等学校	15歳	168.0	168.2	△ 0.2	157.1	157.1	0.0
	16歳	170.0	170.4	△ 0.4	157.3	157.8	△ 0.5
	17歳	170.4	171.1	△ 0.7	157.8	158.0	△ 0.2

区分		体重 (単位: kg)					
		男子			女子		
		令和6年度 A	平成6年度 B	差 A-B	令和6年度 A	平成6年度 B	差 A-B
幼稚園	5歳	18.9	19.2	△ 0.3	18.7	18.7	0.0
	6歳	21.3	21.8	△ 0.5	20.9	21.0	△ 0.1
小学校	7歳	24.2	24.0	0.2	23.7	23.5	0.2
	8歳	27.4	27.3	0.1	26.8	26.5	0.3
	9歳	31.3	30.3	1.0	30.1	30.0	0.1
	10歳	34.4	34.3	0.1	35.4	34.5	0.9
	11歳	39.4	37.9	1.5	40.7	39.3	1.4
中学校	12歳	45.6	44.1	1.5	44.5	45.3	△ 0.8
	13歳	50.6	49.1	1.5	47.8	48.1	△ 0.3
	14歳	55.2	54.3	0.9	50.0	50.8	△ 0.8
高等学校	15歳	58.8	59.5	△ 0.7	51.4	52.2	△ 0.8
	16歳	62.5	61.2	1.3	52.6	53.4	△ 0.8
	17歳	62.0	62.9	△ 0.9	52.6	53.5	△ 0.9

参考図 2-1 親の世代である 30 年前（平成 6 年度調査）との比較（男子）



参考図 2-2 親の世代である 30 年前（平成 6 年度調査）との比較（女子）



2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向児 (表2、図2-1)

肥満傾向児の出現率は、男子では、5歳から8歳及び17歳を除く各年齢で10%を超えており、16歳で15.43%と最も高くなっています。また、7歳、11歳、12歳及び14歳から16歳を除く各年齢で全国値を下回っています。

女子では、10歳から12歳で10%を超えており、10歳で14.35%と最も高くなっています。また、9歳、14歳及び17歳で全国値を下回っています。

(2) 痩身傾向児 (表2、図2-2)

痩身傾向児の出現率は、男子では、5歳から7歳を除く各年齢で1%を超えており、15歳で7.68%と最も高くなっています。また、8歳、11歳、15歳及び16歳を除く各年齢で全国値を下回っています。

女子では、5歳、6歳、8歳及び17歳を除く各年齢で1%を超えており、15歳で4.43%と最も高くなっています。また、7歳、12歳及び15歳を除く各年齢で全国値を下回っています。

表2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
肥満傾向児	和歌山県	3.29	4.76	6.93	8.92	9.77	13.14	12.01	12.15	10.06	8.85	11.86	11.60	6.82
	男	2.68	3.31	7.40	9.23	10.96	11.97	13.13	13.81	10.65	10.58	14.34	15.43	8.93
	女	3.90	6.29	6.43	8.59	8.58	14.35	10.85	10.53	9.45	7.02	9.26	7.55	4.60
	全国	3.04	4.27	6.28	8.70	10.22	10.96	11.55	11.17	10.08	9.07	10.24	8.90	9.16
	男	2.94	4.07	6.52	9.51	11.30	12.73	13.00	12.68	11.69	10.58	12.13	10.94	10.63
	女	3.14	4.47	6.03	7.86	9.08	9.10	10.02	9.60	8.38	7.49	8.28	6.77	7.64
痩身傾向児	和歌山県	0.08	0.11	0.77	1.42	1.51	2.23	3.02	3.70	2.94	2.74	6.10	3.94	1.40
	男	-	-	0.27	1.88	1.26	2.18	3.99	3.10	2.84	2.09	7.68	5.34	1.95
	女	0.16	0.22	1.30	0.95	1.77	2.28	2.01	4.29	3.05	3.42	4.43	2.46	0.81
	全国	0.26	0.49	0.59	1.17	2.11	2.94	3.17	4.01	3.36	3.33	3.67	3.28	2.89
	男	0.24	0.42	0.62	1.06	1.90	2.90	3.47	3.81	3.17	3.09	3.88	3.67	3.43
	女	0.28	0.56	0.57	1.30	2.33	2.98	2.86	4.22	3.56	3.58	3.46	2.87	2.33

※肥満・痩身傾向児については、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度（過体重度）を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としています。

肥満度（過体重度）

$$= \text{〔実測体重 (kg) - 身長別標準体重 (kg)〕} / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重 (kg) = a × 実測身長 (cm) - b

係数	年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		男	a	0.386	0.461	0.513	0.592	0.687	0.752	0.782	0.783	0.815	0.832	0.766
	b	23.699	32.382	38.878	48.804	61.390	70.461	75.106	75.642	81.348	83.695	70.989	51.822	53.642
女	a	0.377	0.458	0.508	0.561	0.652	0.730	0.803	0.796	0.655	0.594	0.560	0.578	0.598
	b	22.750	32.079	38.367	45.006	56.992	68.091	78.846	76.934	54.234	43.264	37.002	39.057	42.339

出典：公益財団法人日本学校保健会『児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）』

図 2 - 1 肥満傾向児の出現率

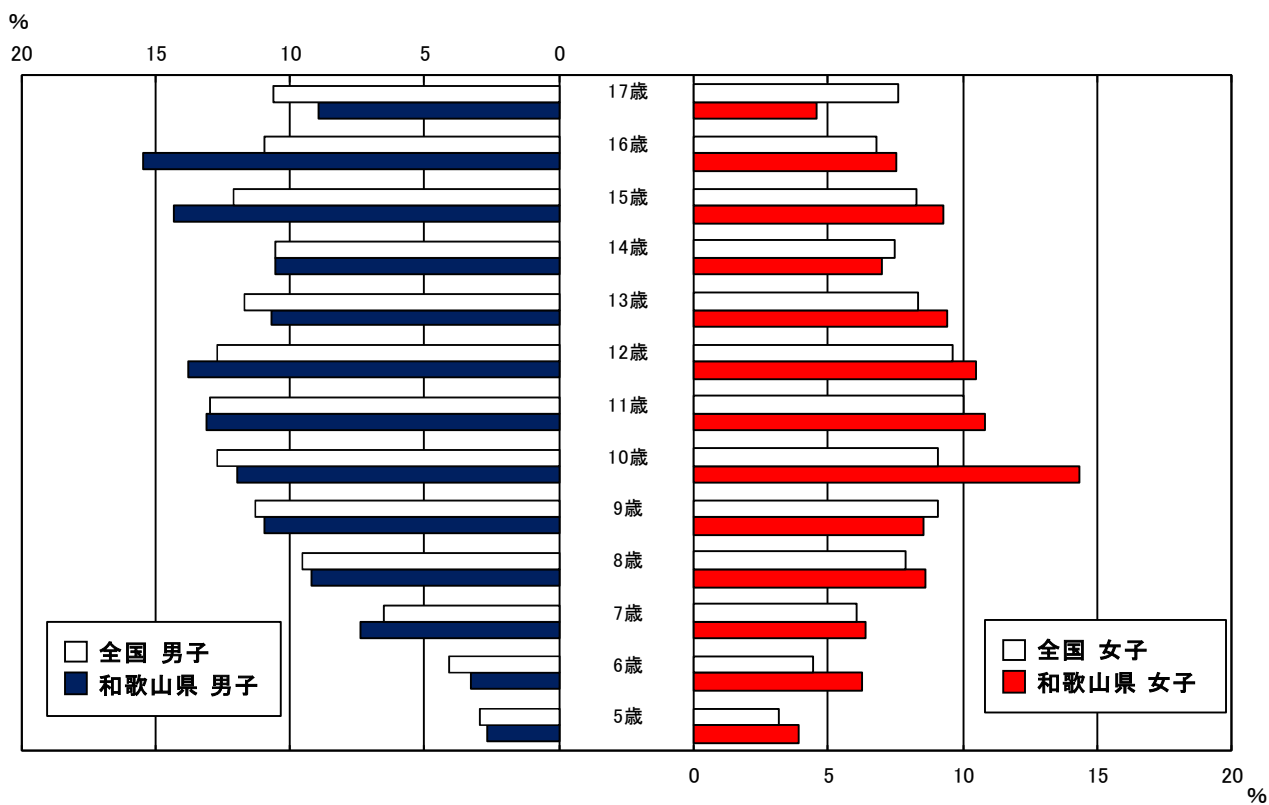
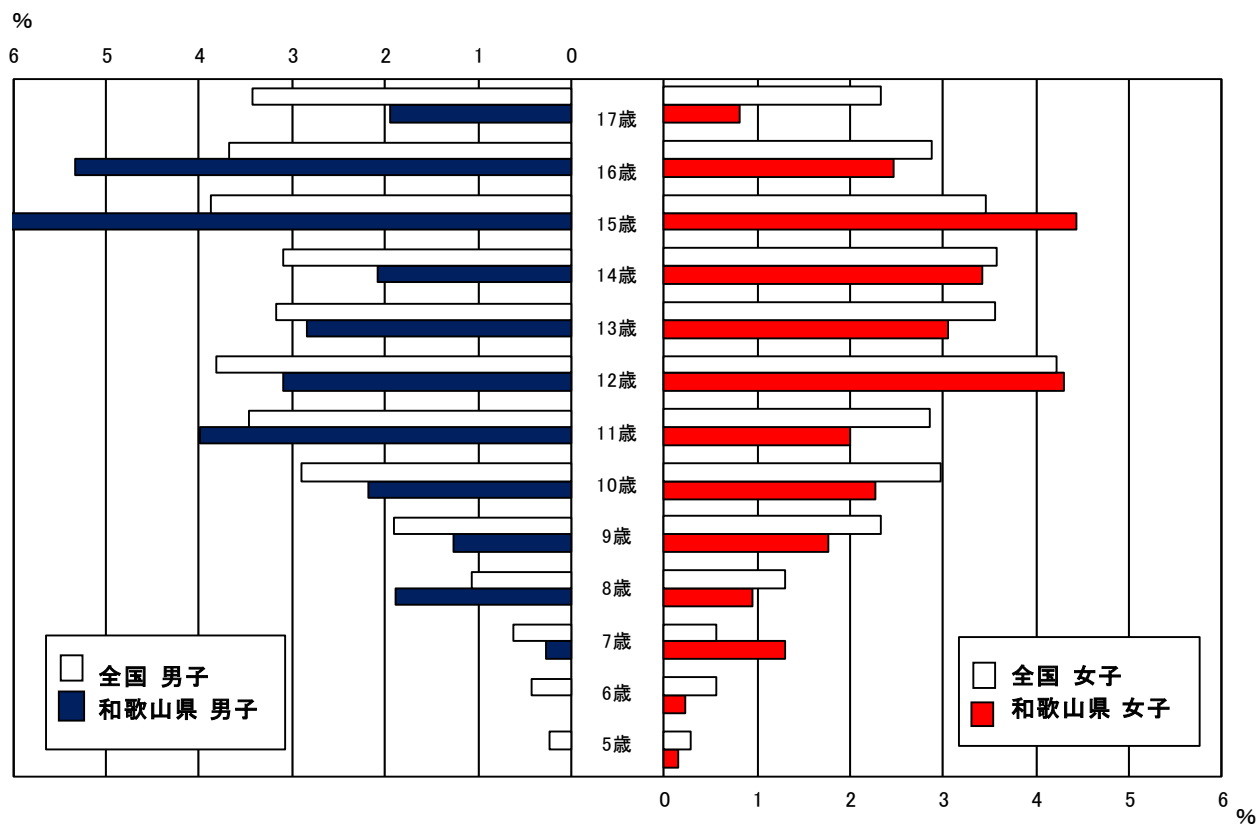


図 2 - 2 痩身傾向児の出現率



【 健 康 状 態 】

1 学校区分別 主な疾病・異常被患率等について (表3、表4-1)

(1) 裸眼視力 1.0 未満

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校 30.7%、中学校 52.5%となっており、ともに全国値を下回っています。

(2) 眼の疾病・異常

眼の疾病・異常の者の割合は、幼稚園 3.4%、小学校 7.6%、中学校 6.5%、高等学校 4.7%となっており、全ての学校区分で全国値を上回っています。

(3) 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園 1.4%、小学校 15.8%、中学校 12.1%、高等学校 0.9%となっており、小学校及び中学校で全国値を上回っています。

(4) むし歯(う歯)

むし歯(う歯)の者の割合は、幼稚園 22.6%、小学校 35.9%、中学校 25.7%、高等学校 35.6%となっており、中学校を除く学校区分で全国値を上回っています。

(5) アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園 2.0%、小学校 2.4%、中学校 1.9%、高等学校 1.4%となっており、幼稚園を除く学校区分で全国値を下回っています。

(6) ぜん息

ぜん息の者の割合は、幼稚園 0.6%、小学校 1.2%、中学校 0.7%、高等学校 0.7%となっており、全ての学校区分で全国値を下回っています。

2 年齢別 疾病・異常被患率等について (表4-1~3)

「裸眼視力 1.0 未満」の者の割合については、15歳で最も高くなっており 69.2%です。「眼の疾病・異常」の者の割合については、7歳で最も高くなっており、8.2%です。「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合については、10歳で最も高くなっており、18.9%です。「むし歯(う歯)」「アトピー性皮膚炎」「ぜん息」の者の割合については、いずれも8歳で最も高くなっており、それぞれの割合は、43.1%、3.2%、1.6%です。

表3 主な疾病・異常被患率等の推移

区分		裸眼視力1.0未満		眼の疾病・異常		鼻・副鼻腔疾患		むし歯(う歯)		アトピー性皮膚炎		ぜん息	
		和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国
幼稚園	令和2年度	X	27.90	4.5	1.36	0.3	2.38	X	30.34	1.9	1.90	0.8	1.64
	3年度	21.6	24.81	4.1	1.48	0.3	2.96	30.2	26.49	1.9	1.75	0.5	1.48
	4年度	X	24.95	2.1	1.27	0.1	3.03	19.7	24.93	0.7	1.62	0.3	1.11
	5年度	31.0	22.92	2.8	1.63	0.1	2.99	19.2	22.55	0.8	1.48	1.0	1.15
	6年度	X	26.53	3.4	1.44	1.4	2.74	22.6	20.74	2.0	1.61	0.6	1.20
小学校	令和2年度	32.2	37.52	7.2	4.78	9.8	11.02	42.2	40.21	1.5	3.18	1.2	3.31
	3年度	34.1	36.87	7.3	5.13	16.1	11.87	44.9	39.04	1.7	3.20	1.3	3.27
	4年度	36.6	37.88	8.1	5.28	9.9	11.44	37.2	37.02	2.2	3.14	1.3	2.85
	5年度	34.8	37.79	8.2	5.32	14.1	12.38	39.0	34.81	2.2	3.25	1.4	2.87
	6年度	30.7	36.84	7.6	5.54	15.8	12.10	35.9	32.89	2.4	3.24	1.2	2.87
中学校	令和2年度	53.8	58.29	7.4	4.66	8.4	10.21	34.2	32.16	1.2	2.86	1.4	2.59
	3年度	54.7	60.66	7.8	4.84	12.2	10.06	34.8	30.38	1.4	2.95	0.8	2.31
	4年度	55.1	61.23	9.1	4.95	12.7	10.70	25.3	28.24	2.0	2.96	0.7	2.23
	5年度	57.5	60.93	9.4	5.08	11.6	10.48	28.5	27.95	1.5	2.99	0.3	2.00
	6年度	52.5	60.61	6.5	4.80	12.1	10.55	25.7	26.50	1.9	2.98	0.7	1.89
高等学校	令和2年度	65.1	63.17	2.4	3.56	0.5	6.88	45.0	41.66	0.5	2.44	0.4	1.75
	3年度	71.4	70.81	3.9	3.35	0.4	8.81	46.2	39.77	1.1	2.58	0.8	1.70
	4年度	X	71.56	5.2	3.58	4.3	8.51	37.7	38.30	1.3	2.68	1.2	1.71
	5年度	69.8	67.80	4.1	3.57	0.8	7.60	38.6	36.38	1.1	2.39	0.7	1.50
	6年度	X	71.06	4.7	3.32	0.9	7.91	35.6	34.70	1.4	2.60	0.7	1.42

※「X」は、標本サイズが小さい等のため、統計数値を公表しておりません。

※なお、令和2年度～令和5年度の数値について、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、他の年度の数値と単純な比較はできません（P.2「3. 利用上の注意(3)」参照）。

表 4-3 年齢別 疾病・異常被患率等 (和歌山県③女)

(単位:%)

区分	裸眼視力										眼の疾病・異常		難聴		耳鼻咽喉		歯				歯肉の状態	顎関節	歯列・咬合	その他異常の疾病	
	1.0以上		0.7未満		0.3未満		計	1.0未満	0.7以上	0.3以上	眼の疾病・異常	難聴	耳疾	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯計	処置者	未処置者							
	1.0	0.7	1.0	0.3	1.0	0.7													0.3						
幼稚園	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	4.0	...	6.7	0.1	2.0	24.4	8.4	16.0	2.5	-	2.5	0.2	2.4		
小 学 校	計	100.0	63.1	8.9	9.0	3.1	3.6	2.9	4.0	5.4	33.3	11.8	13.0	8.5	7.6	0.4	9.3	13.1	3.2	3.2	34.5	14.1	20.5	1.2	6.1
	5歳	100.0	76.3	11.6	4.9	1.0	3.0	1.4	1.0	0.8	20.6	13.0	5.9	1.7	7.1	0.5	12.5	8.2	5.4	3.2	31.0	8.6	22.3	1.2	7.0
	6歳	100.0	72.8	9.0	5.8	2.3	3.1	2.7	3.0	0.9	24.1	11.8	9.1	3.2	8.0	0.6	11.9	15.5	2.7	2.7	33.7	12.8	20.9	0.9	4.6
	7歳	100.0	67.9	8.7	9.8	2.4	2.9	1.8	3.7	2.7	29.1	10.5	13.5	5.1	6.9	0.4	8.0	10.9	1.4	1.4	41.9	18.2	23.7	1.1	6.2
	8歳	100.0	62.7	9.1	8.9	5.6	3.8	2.1	3.6	4.1	33.5	11.2	12.5	9.7	8.2	...	8.3	11.1	4.0	39.4	17.3	22.1	9.9	2.2	4.9
	9歳	100.0	53.9	7.1	12.9	3.2	5.5	2.9	5.0	9.4	40.6	10.0	17.9	12.6	7.5	0.3	6.4	16.1	2.0	2.0	36.6	15.4	21.2	9.7	7.9
	10歳	100.0	47.4	8.3	10.8	3.7	3.3	6.2	7.1	13.2	49.4	14.5	17.9	16.9	8.1	...	9.3	16.2	3.6	3.6	24.6	11.5	13.1	6.7	6.2
	11歳	100.0	45.1	7.8	10.5	5.2	2.0	3.9	6.7	18.7	52.9	11.7	17.2	24.0	5.0	0.4	4.4	11.0	1.0	1.0	25.8	16.3	9.5	7.1	2.1
	12歳	100.0	44.7	11.1	10.5	4.9	2.3	5.6	4.0	16.9	53.1	16.8	14.5	21.8	5.0	0.6	6.0	11.2	1.0	1.0	24.5	14.0	10.5	6.5	2.8
	13歳	100.0	43.0	6.2	13.4	5.8	1.3	3.2	7.5	19.4	55.6	9.4	20.9	25.3	5.6	...	3.4	10.7	1.1	1.1	27.1	17.0	10.2	7.1	2.0
	14歳	100.0	47.7	5.9	7.5	4.9	2.4	2.9	8.7	19.9	49.9	8.9	16.2	24.9	4.4	0.3	3.8	11.2	1.0	1.0	25.7	17.9	7.8	7.8	1.4
	15歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	0.3	0.3	-	0.5	0.2	0.2	36.7	24.2	12.5	5.1	4.6
	16歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	0.3	0.3	-	0.2	0.1	0.1	31.8	20.1	11.7	6.6	5.1
	17歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	3.4	0.2	-	0.8	0.3	0.3	37.1	25.5	11.7	4.0	4.9

区分	永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数				栄 養 状 態		せき柱・胸郭・四肢の状態			皮膚疾患		心電図異常	尿糖検出の有無	その他の疾病・異常				
	計	喪失歯数	むし歯(う歯)		養 状 態	胸郭の状態	四肢の状態	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	心臓・臓器異常	腎臓疾患			言語障害	その他異常の疾病			
			計	処置者												未処置者		
幼稚園	0.9	-	-	2.3	0.8	...	0.7	...	2.5	...	0.4	-	0.1	0.3
小 学 校	計	1.7	1.0	0.0	2.4	0.2	-	0.5	2.2	2.9	0.2	1.0	0.0	0.1	3.5
	5歳	0.7	0.9	-	2.6	0.4	-	0.6	2.2	2.8	0.7	1.1	-	0.3	2.7
	6歳	0.5	0.6	0.1	2.7	0.1	-	0.5	...	1.3	0.1	0.9	0.1	0.1	3.5
	7歳	1.9	0.6	-	3.5	0.2	-	0.6	...	2.5	0.1	1.8	-	0.0	3.5
	8歳	1.8	1.2	-	2.1	0.3	-	0.5	...	3.0	0.1	0.8	-	0.0	5.0
	9歳	3.0	0.5	0.0	1.0	0.2	-	0.6	...	4.2	0.4	0.7	-	0.2	3.3
	10歳	2.0	1.8	-	2.4	-	-	0.4	...	3.5	0.1	0.7	-	0.2	3.1
	11歳	0.8	1.3	-	1.7	0.1	-	0.6	3.2	5.0	0.1	0.5	0.1	0.1	2.7
	12歳	0.6	1.3	-	1.9	0.1	-	0.8	3.2	6.4	0.2	0.3	0.1	0.1	2.4
	13歳	1.3	1.3	-	2.3	-	-	0.5	...	5.0	0.1	0.7	0.1	0.1	3.6
	14歳	0.5	1.4	-	0.8	0.1	-	0.6	...	3.5	0.1	0.3	0.2	0.0	2.1
中 学 校	計	0.0	0.5	-	1.3	0.1	...	0.6	3.3	3.9	0.3	0.6	0.1	0.1	4.6
	12歳	0.1	0.7	-	1.4	0.1	...	0.2	0.6	3.3	4.1	0.3	0.7	0.1	5.3
	13歳	-	0.7	-	1.2	0.0	...	0.7	3.6	3.6	0.3	0.6	0.1	-	4.9
	14歳	-	0.2	-	1.2	0.1	...	0.4	...	4.0	0.3	0.7	0.1	0.2	3.4

1. この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推計値を示したものです。
 2. 表中の記号について、「-」は計数が単位未満の場合、「0.0」は計数が単位未満の場合、「...」は調査対象とならなかった場合、「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない場合を表します。
 3. 「結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会からの意見を聞かずに精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校医の診察の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれます。